



会費ペイAPI利用ガイド

第1.2.4版

1. 本資料について	2
2. 利用開始設定	2
2.1. APIトークンの取得	2
2.2. HTTPヘッダの設定	2
2.3. リクエストURLについて	2
3. 会員登録・情報更新フォームの作成	3
3.1. 基本項目	3
3.2. カスタム項目	5
4. 会員情報の取得	6
4.1. 更新対象の会員情報取得	6
5. 会員情報の登録・更新	7
5.1. バリデーション	7
5.2. 会員情報の送信	7
6. 会員情報の検索	8
7. 支払方法変更用認証コードの取得	8
7.1. 支払方法変更用認証コードについて	8
7.2. 支払方法変更用認証コードの取得と利用方法	8
8. APIトークンの有効期限と更新	9
8.1. APIトークンの有効期限	9
8.2. APIトークンの更新	9
9. 通知API	10
9.1. 利用方法	10
9.2. 利用可能な通知テンプレート	10
9.3. 利用可能な通知方法	10
10. Webhook	11
10.1. 会員情報	11
10.1.1. 送信内容	11
10.1.2. 会員情報送信先URLの登録	11
10.2. 請求情報	11
10.2.1. 送信内容	11
10.2.2. 請求情報送信先URLの登録	12
11. 注意事項	12
11.1. APIのリクエスト回数制限	12
11.2. 不正リクエスト	12
11.3. バリデーション	12
12. 免責事項	12
12.1. APIキー、パラメータ追加における留意点	12
13. 改訂履歴	13



1. 本資料について

本資料はAPIのリクエスト内容、レスポンス内容については説明を行いません。
別途[WEBのAPI仕様](#)をご確認ください。

2. 利用開始設定

2.1. APIトークンの取得

会費ペイ管理画面にログインし、設定 > API連携タブと進み、メールアドレス・パスワードを設定し、APIトークンを取得します。

2.2. HTTPヘッダの設定

プログラムコードでHTTPリクエストヘッダーに
Authorization:Bearer {APIトークン}
Content-Type: application/json
を含めるようにし、APIを呼び出す必要があります。

2.3. リクエストURLについて

ドメイン部分については参照いただいているこのドキュメントのドメインになります。
その後 /v1 を付加し、API仕様書に記載のエンドポイントを指定ください。

`https://{ドメイン}/v1/regenerate_token`

3. 会員登録・情報更新フォームの作成

3.1. 基本項目

会員情報更新フォームを準備いただく際、基本項目はHTMLにてinputタグを記述し、name属性は会費ペイAPI指定のものとしていただく必要があります。

[会員基本項目](1/2)

番号	項目名	name属性	必須	入力ルール	備考
1	氏名(漢字)	name	○(※1)	40文字以内 2つ以上のスペース不可	設定>会員項目>氏名>入力方式が「単一」となっている場合の氏名のレスポンス
2	氏名(カナ)	name_kana	○(※1)	40文字以内 2つ以上のスペース不可 カナ以外不可	設定>会員項目>氏名>入力方式が「単一」となっている場合の氏名のレスポンス
3	苗字(漢字)	last_name	○(※1)	20文字以内 スペース不可 記号不可	設定>会員項目>氏名>入力方式が「姓名別々」となっている場合の氏名のレスポンス
4	名前(漢字)	first_name	○(※1)	20文字以内 スペース不可 記号不可	設定>会員項目>氏名>入力方式が「姓名別々」となっている場合の氏名のレスポンス
5	苗字(カナ)	last_name_kana	○(※1)	20文字以内 スペース不可 記号不可 カナ以外不可	設定>会員項目>氏名>入力方式が「姓名別々」となっている場合の氏名のレスポンス
6	名前(カナ)	first_name_kana	○(※1)	20文字以内 スペース不可 記号不可 カナ以外不可	設定>会員項目>氏名>入力方式が「姓名別々」となっている場合の氏名のレスポンス

[会員基本項目](2/2)

番号	項目名	name属性	必須	入力ルール	備考
7	郵便番号	zip_code	○(※1)	数字7文字(ハイフン不可)	
8	住所	address	○(※1)	200文字以内	設定>会員項目>住所>入力方式が「単一」となっている場合の住所のレスポンス
9	都道府県	prefecture	○(※1)	5文字以内 スペース不可	設定>会員項目>住所>入力方式が「都道府県・市区町村・番地以降を別々」となっている場合の住所のレスポンス
10	市区町村	municipalities	○(※1)	25文字以内 スペース不可	設定>会員項目>住所>入力方式が「都道府県・市区町村・番地以降を別々」となっている場合の住所のレスポンス
11	番地、部屋番号	street_address	○(※1)	170文字以内 前後のスペース不可	設定>会員項目>住所>入力方式が「都道府県・市区町村・番地以降を別々」となっている場合の住所のレスポンス
12	電話番号	tel	○(※1)	数字10文字か数字11文字 (ハイフン不可)	
13	メールアドレス	mail	○(※1)	50文字以内 メールアドレス形式 (RFC822準拠)	

※1 リクエストBodyにキーが含まれており値が空となっているとバリデーションエラーが発生します。

フォームに項目がない、リクエストBodyにキーを含めない(更新対処としない)場合であればバリデーションエラーは発生しません。

3.2. カスタム項目

会費ペイ管理画面 > 設定 > 会員項目で作成したカスタム項目を取得します。
 取得したカスタム項目のフォームタイプに応じてHTMLを生成し、選択式の項目についてはフォームタイプオプションに設定された値を使って選択値を設定します。

カスタム項目IDは「[会員情報の取得](#)」でマッピングに利用します。

[カスタム項目一覧]

番号	フォームタイプ	APIによる取得更新	備考
1	テキスト	○	
2	テキストエリア	○	
3	セレクトボックス	○	
4	チェックボックス	○	
5	ラジオボタン	○	
6	カレンダー	○	
7	貴社管理項目	○	取得されますので会員の編集画面に表示されないよう実装して下さい
8	画像アップロード	×	現在対応していません

- [会員カスタム項目取得のAPI仕様](#)

4. 会員情報の取得

4.1. 更新対象の会員情報取得

基本項目は「[会員基本項目の準備](#)」の表「会員基本項目」と同じname属性、入カールールに従った情報が取得されます。

カスタム項目は項目IDと値が返されます。

「[会員登録・情報更新フォームの作成](#)」で取得したカスタム項目IDと同じIDの項目にカスタム項目の値が入るように実装していただく必要があります。

親加盟店がAPI連携を行い子加盟店の会員情報を取得する場合、会員番号の採番ルールによって子加盟店が別で同じ会員番号の会員が重複して取得される場合がありますのでご注意ください。

親加盟店から子加盟店の会員情報を取得する場合は会員情報検索APIを利用した会員ID検索を行うことで重複しない会員の取得が可能です。

- [会員情報取得APIの仕様](#)
- [親加盟店による子加盟店の会員情報取得APIの仕様](#)

5. 会員情報の登録・更新

5.1. バリデーション

会費ペイ管理画面の会員項目からカスタム項目のテキストボックス項目を登録する際にエラーチェックの設定が可能です。

フォームタイプがテキストボックスの項目を作成しており、エラーチェックを指定している場合の各チェック内容は下記の通りとなります。必要に応じてリクエスト前のバリデーションを実装してください。

※チェック名は会費ペイ管理画面の会員項目でテキスト項目の作成時に選択可能なエラーチェック名です。validationはカスタム項目一覧取得で取得したテキスト項目に設定されるバリデーション名です。

[カスタムテキスト項目エラーチェック]

番号	チェック内容	validation	入力ルール	備考
1	半角英数字のみ	eisuu	半角英数文字列のみ許可	
2	数値のみ	is_numeric	数字文字列のみ許可	
3	全角のみ	is_zenkaku	全角文字列のみ許可	

カスタム項目のカレンダー項目で許可されるフォーマットは下記となります。必要に応じてバリデーションを実装してください。

[カレンダー項目のフォーマット]

番号	許可フォーマット	入力例	備考
1	YYYY-MM-DD	2021-01-01	
2	YYYY-M-D	2021-1-1	「2021-01-01」に変換され登録されます
3	YYYY/MM/DD	2021/01/01	「2021-01-01」に変換され登録されます
4	YYYY/M/D	2021/1/1	「2021-01-01」に変換され登録されます

5.2. 会員情報の送信

会員情報をAPI仕様に従ったJSON形式でAPIにリクエストします。

親加盟店から子加盟店の会員情報を送信する場合の会員の識別子は会員IDとなりますのでご注意ください。

[会員登録APIの仕様 親加盟店による子加盟店の会員登録APIの仕様](#)

[会員情報更新APIの仕様 親加盟店による子加盟店の会員情報更新APIの仕様](#)

6. 会員情報の検索

仕様に沿ったURLパラメータを利用することで条件に一致する会員を検索し、一覧で取得することが可能です。
一度に取得する件数はデフォルトで100件となり、取得件数(limit)パラメータの指定にて最大1000件まで取得可能です。
1000件を超えるデータを取得する際は、検索パラメータの取得開始位置(offset)と取得件数(limit)の値を変え、数回に分けて取得してください。
[APIのリクエスト回数制限](#)にご注意ください。

[会員情報検索APIの仕様](#)
[親加盟店による子加盟店の会員情報検索APIの仕様](#)

7. 支払方法変更用認証コードの取得

7.1. 支払方法変更用認証コードについて

会員が支払い方法の変更を行う際、支払方法変更画面の呼び出しに認証コードが必要となります。

7.2. 支払方法変更用認証コードの取得と利用方法

支払方法変更用認証コードの取得APIにアクセスして認証コードを取得し、取得した認証コードを利用して支払方法変更画面を呼び出すようにしてください。
親加盟店から子加盟店会員の支払方法変更用認証コードを取得する場合の会員の識別子は会員IDとなりますのでご注意ください。

[支払方法変更用認証コード取得のAPI仕様](#)
[親加盟店による子加盟店会員の支払方法変更用認証コード取得のAPI仕様](#)

末尾に認証コードを付加して、アクセスしてください。
https://{ドメイン
}/recurring/change_payment_method/?customer_edit_payment_method_auth_code={認証
コード}

8. APIトークンの有効期限と更新

8.1. APIトークンの有効期限

APIトークンの有効期限は30日です。有効期限が切れるとAPIリクエストした際に認証エラーが発生します。

8.2. APIトークンの更新

有効期限切れによる認証エラーが発生した場合は、トークン再発行APIにアクセスすることで新しいトークンを取得することが可能です。

新しく取得したトークンを利用し他のAPIにアクセスするようにしてください。

[APIトークン再発行のAPI仕様](#)

9. 通知API

9.1. 利用方法

処理後に対象となる会員への通知を行いたい場合に通知APIを利用します。
「会員向けメール配信」、「管理者向けメール配信」の設定は、会費ペイ管理画面の「メール管理」の設定が使用されます

9.2. 利用可能な通知テンプレート

カテゴリ	種別	件名(初期設定)	コード	備考
登録変更	会員情報変更完了 (会員変更)	【{%store_name%}】会 員情報変更完了	completed_change_customer	
登録変更	会員情報変更完了 (スタッフ変更)	【{%store_name%}】会 員情報変更完了	completed_change_customer_ by_staff	

詳細につきましては、会費ペイ管理画面の「メール管理」から対象となるメールテンプレートの詳細画面を開き確認いただくことが可能です。
※上記以外の通知テンプレートは現バージョンでは利用できません。

9.3. 利用可能な通知方法

メールアドレス登録済み会員へはメールにて通知を行います。
メール登録がなくLineのみ登録されている会員へはLineにて通知いたします。

10. Webhook

10.1. 会員情報

10.1.1. 送信内容

会員情報が登録された時に会員情報送信URLへ会員情報を送信(POST)します。
送信される会員情報は下記の会員情報APIの仕様書のresponse内のデータと同じ項目となります。

[会員情報取得APIの仕様](#)

また、上記に加え、「record_type」が返却されます。

追加処理時: ADD

支払い方法登録時: REGISTER_PAYMENT_METHOD

支払い方法変更時: CHANGE_PAYMENT_METHOD

会員コース追加時: ADD_COURSE

会員コース削除時: DELETE_COURSE

会員コース変更時: CHANGE_COURSES

上記以外の会員情報変更時: UPDATE

会員削除時: DELETE

10.1.2. 会員情報送信先URLの登録

会費ペイ管理画面にログインし、設定 > API連携タブと進み、会員情報送信URLを登録します。

10.2. 請求情報

10.2.1. 送信内容

請求情報が登録・更新・削除された時に請求情報送信URLへ請求情報を送信(POST)します。
送信される請求情報は下記の請求情報APIの仕様書のresponse内のデータと同じ項目となります。

[請求情報取得APIの仕様](#)

※会員情報取得APIのレスポンスと異なり、配列で返却されますのでご注意ください。

また、上記に加え、「record_type」が返却されます。

追加処理時: ADD

更新処理時: UPDATE

確定処理更新時: UPDATE_TO_DETERMINED

決済処理更新時: UPDATE_TO_PAID

催促処理更新時: UPDATE_TO_DUNNING

削除処理時: DELETE

10.2.2. 請求情報送信先URLの登録

会費ペイ管理画面にログインし、設定 > API連携タブと進み、請求情報送信URLを登録します。

11. 注意事項

11.1. APIのリクエスト回数制限

APIは通常1分間に180回(1リクエスト毎に60秒間のインターバル)の回数制限があります。トークン再発行APIにリクエスト可能な回数は更に少ない回数に制限されます。短時間で繰り返しトークンの更新を必要とする実装は避けてください。

11.2. 不正リクエスト

更新対象の会員情報が会員番号に紐づく会員であるかどうかは会費ペイAPIはチェックいたしません。そのためお客様環境にて会員番号の書き換えによる不正が行われないように実装していただく必要があります。

11.3. バリデーション

会員情報は会費ペイAPIでバリデーションチェックを行なっておりますが、お客様環境にてバリデーションチェックが行われていることを前提としております。会費ペイAPIが不正なリクエストを受けた場合に詳細のないエラーを返す可能性があります。

12. 免責事項

12.1. APIの返却するレスポンスのパラメータ追加における留意点

主にGET関連のAPIにおいて、仕様追加・更新に伴い、返却するレスポンスのパラメータの追加が行われることがあります。

パラメータの「追加」においては、既存のAPI動作に影響が無いことを前提とし、特に当社からの事前アナウンスは行わないケースがあります。ご了承ください。

API実装に置かれましては、パラメータの「追加」は、行われる前提での実装をしていただけますよう、お願いいたします。

※「パラメータの追加」とは、例えば会員情報取得APIにおいて、“name2”のようなパラメータが追加されるようなことです。

※パラメータの「更新」「削除」については、既存のAPI動作に影響があるため、事前アナウンスを行った上で適用いたします。

13. 改訂履歴

バージョン	更新日	更新内容
1.2.1	2024/8/1	<p>3.会員情報更新フォームの作成を 3.会員登録・情報更新フォームの作成に変更</p> <p>氏名、苗字、名前の入力ルールを変更</p> <p>5.会員情報の更新を 5.会員情報の登録・更新に変更</p> <p>API仕様書へのリンクを修正</p> <p>10. Webhook 10.1 会員情報 「record_type」について追記 10.2 請求情報の、項目追加</p>
1.2.2	2024/9/12	10. Webhook record_typeの種別追加
1.2.3	2025/3/31	<p>2.1 APIトークンの取得 一部内容更新</p> <p>12. 免責事項, 13. 改訂履歴 を追加</p> <p>11.12. 13. をナンバリングを修正</p>
1.2.4	2025/4/30	<p>7.2 支払方法変更用認証コードの取得と利用方法 認証コードの利用例追加</p> <p>10. Webhook record_typeの種別追加</p>